

作成番号:0324

---

---

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

---

---

号数:2025-324

\*\*\*\*\*

内容:スタチン使用によるくも膜下出血予防効果はあるか?

出典:Association Between Statin Use and Risk of Subarachnoid Hemorrhage: A Case-Control Study Using Large-Scale Claims Data.

Stroke. 2025 Jul 08; doi: 10.1161/STROKEAHA.124.049997.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40625226/>

\*\*\*\*\*

高コレステロール血症治療薬であるスタチン系薬剤を服用すると、その後の脳梗塞のリスクが低下する可能性について、東京理科大学の研究者らが日本のレセプトデータベースを用いて症例対照研究を実施した結果を Stroke 誌オンライン版 2025 年 7 月 8 日号に報告した。

2005 年 1 月～2021 年 8 月に新たにくも膜下出血と診断されて入院した患者を症例とし、症例 1 例につき 4 例の対照を無作為に選択し、incidence density sampling を用いて年齢、性別、追跡期間でマッチングした。スタチン曝露(使用頻度、期間)はくも膜下出血発症前に評価した。症例 3,498 例と対照 13,992 例が同定され、症例群の 12.2% と対照群の 12.7% でスタチンを使用していた。患者特性による調整後、スタチン使用はくも膜下出血リスクの有意な低下と関連していた(調整オッズ比: 0.81、95% 信頼区間: 0.69～0.95)。この関連は高血圧と脳血管疾患の既往歴により有意な影響があった(相互作用の p 値: どちらも 0.042)。

これらの結果は、スタチンがくも膜下出血予防に役割を果たす可能性を示唆しており、とくに高血圧または脳血管疾患既往歴のある患者においてその効果が顕著であった。

## Statin Use and Subarachnoid Hemorrhage (SAH) Risk: A Case-Control Study

